

19 枕草子（木の花は）

一 傍線部の語句の読みをひらがな（現代仮名遣い）で記せ。

[2点×3

① 愛敬おくれたる人の顔などを見ては、

[]

② 唐土には限りなきものにて、

[]

③ さまざまなる音の出で来るなどは、

[]

二 傍線部の語句の意味を後から選べ。

[2点×4

① 色濃く咲きたる、いとめでたし。

[]

ア 珍しい。

イ 目立っている。

ウ すばらしい。

② よにすさまじきものにして、

[]

ア 手の打ちようがない。

イ 興ざめだ。つまらない。

ウ すぐれている。

③ 心もとなうつきためれ。

[]

ア たくさん。 イ ほんの少し。

ウ 平年並みに。

④ 唐土にことごとしき名つきたる鳥の、

[]

ア 大げさだ。

イ 騒がしい。

ウ 控えめだ。

三 傍線部の音便の語のものとの形を記せ。

[2点×4

① 花のいと白う咲きたるが、

[]

② いみじうあざやかに見えたるなど、

[]

③ 心もとなうつきためれ。

[]

④ まいて琴に作りて、

[]

四 傍線部の動詞の活用之行と活用の種類・活用形を後から選べ。

[2点×4

① なほさりともやうあらむと、

[]

ア ラ行四段活用・未然形

イ ラ行変格活用・未然形

ウ ラ行変格活用・連用形

② せめて見れば、

[]

ア ラ行四段活用・已然形

イ ラ行下二段活用・未然形

ウ マ行上一段活用・已然形

③ えりてこれにのみゐらむ、

[]

ア ヤ行上一段活用・終止形

イ ワ行上一段活用・終止形

ウ ラ行四段活用・連体形

④ さまざまなる音の出で来るなどは、

[]

ア カ行変格活用・連体形

イ ラ行四段活用・終止形

ウ カ行上二段活用・連体形

(解答) 「計30点」

一 ①あいきょう ②もろこし ③い [2点×3]

二 ①ウ ②イ ③イ ④ア [2点×4]

三 ①白く ②いみじく ③たる ④まして

[2点×4]

四 ①イ ②ウ ③イ ④ア [2点×4]